

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和6年 1月 31日

### 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○で囲むこと	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	株式会社 KASSE JAPAN	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 熊本県、八代市、人吉市、水俣市、氷川町、芦北町、津奈木町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村	
所在地	熊本県熊本市中央区花畑町4番3号 太陽生命熊本ビル9階	
設立時期	平成29年4月27日	
事業年度	10月1日から翌年9月30日までの1年間	
職員数	46人【常勤33人（正職員33人・出向等0人）、非常勤13人】	
代表者 （トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 有元 隆 （出身組織名） 九州産交ツーリズム(株)	旅行業経験30年、九州産交ツーリズム(株)では経産省のサービス産業創出支援事業（観光・集客交流サービス分野）を受託し担当。国内・海外募集型企画旅行商品企画造成、プロモーション、平成27年より着地型旅行商品企画造成事業に従事。平成29年4月より現職、地域商社事業にも取り組む。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者 （CMO：チー	（氏名） 森崎 正之「専従」 （出身組織名） 九州産交ツーリズム(株)	旅行業経験26年、九州産交ツーリズム(株)では法人団体関連の旅行営業、手配業務に従事し、法人、行政、学校を主体とした団体旅行、県外からの学会等のMICE受託・運営を取り扱う。募集型企画旅行、代理店営業等も統括し、県内外の交流人口の動向に明るい。またJATA熊本支部での活動等を通じ地域の観光地域マーケティングについて高い知見を得ている。

<p>フ・マー ケティ ング・オ フィ サー ※必ず記 入するこ と</p>		
<p>財務責任 者 (CF O:チー フ・フィ ナンシャ ル・オ フィ サー) ※必ず記 入するこ と</p>	<p>(氏名) 古閑 勝広「専従」 (出身組織名) 九州産交リテール(株)</p>	<p>1990年九州産業交通株式会社入社、経理部財務課、執行役員経理グループ長、取締役、2023年12月当社取締役就任。九州産交グループにおける財務戦略の立案、執行責任者として従事。</p>
<p>各部門 (例:プ ロモー ション)の 責任者 (専門人 材) ※各部門 責任者の うち専従 の者につ いては、 氏名の右 横に「専 従」と記 入するこ と</p>	<p>(氏名) 坂井 敏行「専従」 (出身組織名) 九州産交ツーリズム(株)</p>	<p>旅行業経験31年、九州産交ツーリズム(株)では法人団体営業の他、天草地域での観光振興にも取り組む。「天草宝島物産公社」に出向、天草市職員として、地域産品と観光振興の造詣を深め、得た知見を他地域でも活用している。</p>
<p>各部門 (例:旅 行商品の 造成・販 売)の責 任者(專 門人材)</p>	<p>(氏名) 松本 麻里「専従」 (出身組織名) 九州産交ツーリズム(株)</p>	<p>旅行業経験17年、九州産交ツーリズム(株)において海外、国内、クルーズ等の旅行商品の企画、手配、販売、精算の担当者として知見を深める。B to B関連の営業責任者として地域の着地型旅行商品販売に携わる。現在コールセンター責任者として地域の観光素材磨き上げ、路線バスの旅「ロバの旅」の企画責任者を務める。</p>
<p>連携する 地方公共 団体の担</p>	<p>●マーケティング・プロモーション、地域公共交通 / 熊本県 観光戦略部観光企画課 ●農林水産物 流通促進 / 熊本県 農林水産部流通アグリビジネス課 ●地域観光振興、地域産品振興 / 八代市フードバレー推進課、八代市観光・クルーズ振興課、水俣市経済観光課、人吉市 観光振興課、氷川町 地域振興課、芦北町 商工観光課、津奈木</p>	

<p>当部署名及び役割</p>	<p>町 政策企画課、錦町 企画観光課、あさぎり町 商工観光課、多良木町 企画観光課、湯前町 企画観光課、水上村 産業振興課、相良村 産業振興課、五木村 ふるさと振興課、山江村 企画調整課、山江村 企画調整課</p>				
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>●各地域観光 / (一社)熊本県物産振興協会、(公社)熊本県観光連盟 ●地域連絡調整、地域素材提供 / くまもと県南フードバレー推進協議会、各市町村観光担当課 ●アクセス改善 / 九州産業交通ホールディングス(株)、九州産交バス(株)、産交バス(株) ●地域産品開発、販売 / 九州産交リテール(株) ●旅行商品企画販売 / 九州産交ツーリズム(株)</p>				
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】②          (DMOが行う取り組みに関する連絡調整を図るため、行政や観光団体で構成する「くまもと県南フードバレー推進協議会」をDMO組織と別に設置している。当協議会では、県南 15 市町村の実務者レベルで多様な関係者の調整を含め、定期的に戦略を検討し、官民が密接した事業運営を実施する。          その上で、(株)KASSE JAPANが九州産交グループの地域交通事業者としての経営資源等を活用しながら、持続可能な仕組みを構築する。</p>				
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>年に1回、「講演会・個別商談会・異業種交流会」を開催し、協議会会員を中心に毎回200名の方々に参加いただいている。          講演会では、「食」に対し知見を持っている経営者等県外から講師を招き実施。個別商談会では県外のバイヤーを招き、地域産品の商談機会を提供。また地域事業者との情報交換の場として異業種交流会を実施し、産学官の関係者が多く参加している。          また、年に1回「くまもと県南フードバレーフェスタ」と題し一般県民を対象としたイベントを開催し、地域産品や観光商品の展示販売を行っている。          常設では熊本の中心市街地にある複合商業施設「サクラマチクマモト」内にある「くまモンビレッジ」にて地域の観光素材・地域産品を紹介し販売する展示販売施設を運営している。</p>				
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>【活動の概要】</p> <table border="1" data-bbox="328 1279 1302 1989"> <thead> <tr> <th data-bbox="328 1279 512 1328">事業</th> <th data-bbox="512 1279 1302 1328">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="328 1328 512 1989"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td data-bbox="512 1328 1302 1989"> <p>・2019・2020・2021・2022・2023年芦北町復興応援・観光素材プロモーション事業                  2019年度に立案、モニタリングを経た芦北町の観光うたせ船を活用した着地型観光商品を活用し、新型コロナウイルスの感染拡大防止により滞った観光交流人口を取り戻すための積極的な旅行代金助成キャンペーンを展開、またその効果をもって芦北町への訪問需要を喚起させ、着地型観光商品の充実化により新規の顧客を呼び込める地域アビリティを醸成した。誘客性の高い魅力的な「食事」を商品に取り入れ、訪問者へ豊富な選択肢を創出、自由度の高い着地型観光商品を組み上げ、熊本県内の旅行市場での存在感を示す。</p> <p>・2017・2018・2019・2020・2021・2022・2023年地域商社推進事業                  東京、大阪、福岡の展示会出展のための事務局機能、地域産品を生かしたオリジナル商品開発、東京、大阪での商品販売会への出店、県内イベント出店を行った。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>・2019・2020・2021・2022・2023年芦北町復興応援・観光素材プロモーション事業                  2019年度に立案、モニタリングを経た芦北町の観光うたせ船を活用した着地型観光商品を活用し、新型コロナウイルスの感染拡大防止により滞った観光交流人口を取り戻すための積極的な旅行代金助成キャンペーンを展開、またその効果をもって芦北町への訪問需要を喚起させ、着地型観光商品の充実化により新規の顧客を呼び込める地域アビリティを醸成した。誘客性の高い魅力的な「食事」を商品に取り入れ、訪問者へ豊富な選択肢を創出、自由度の高い着地型観光商品を組み上げ、熊本県内の旅行市場での存在感を示す。</p> <p>・2017・2018・2019・2020・2021・2022・2023年地域商社推進事業                  東京、大阪、福岡の展示会出展のための事務局機能、地域産品を生かしたオリジナル商品開発、東京、大阪での商品販売会への出店、県内イベント出店を行った。</p>
事業	実施概要				
<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>・2019・2020・2021・2022・2023年芦北町復興応援・観光素材プロモーション事業                  2019年度に立案、モニタリングを経た芦北町の観光うたせ船を活用した着地型観光商品を活用し、新型コロナウイルスの感染拡大防止により滞った観光交流人口を取り戻すための積極的な旅行代金助成キャンペーンを展開、またその効果をもって芦北町への訪問需要を喚起させ、着地型観光商品の充実化により新規の顧客を呼び込める地域アビリティを醸成した。誘客性の高い魅力的な「食事」を商品に取り入れ、訪問者へ豊富な選択肢を創出、自由度の高い着地型観光商品を組み上げ、熊本県内の旅行市場での存在感を示す。</p> <p>・2017・2018・2019・2020・2021・2022・2023年地域商社推進事業                  東京、大阪、福岡の展示会出展のための事務局機能、地域産品を生かしたオリジナル商品開発、東京、大阪での商品販売会への出店、県内イベント出店を行った。</p>				



	<p>開発した旅行商品：8種類</p> <p>■地域商社事業          展示会出展支援事業者数          大阪（FABEX 関西）：6社          福岡（Food Style 福岡）：8社          オリジナル商品開発：2種類          地域事業者の商品（食品/加工品）開発支援：5社</p>
<p>実施体制          ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</p>	<p>（実施体制の概要）          公益性と収益性を兼ねそろえ自立したDMO組織として運営を行う為、地域で交通・流通（物販）・観光等の多彩な事業基盤を持つ九州産交グループを取り入れた地域商社として（株）KASSE JAPANを設立（DMC）。また、地域事業者と連携した観光商品・物産品開発、流通網整備、販売までの地域サプライチェーンを構築し、収益（運営）基盤を確保する。</p> <p>観光事業は九州産交グループの九州産交ツーリズム(株)地方創生事業部と連携し旅行事業を展開、令和3年7月には地方創生事業を(株)KASSE JAPANに譲渡、一体的に「観光×食」の展開が可能となった。</p> <p>自立・自走できるDMCの整備に向け、成功の可能性を高めるため、既存の協議会（くまもと県南フードバレー推進協議会等）との連携を進めつつ、熊本地震・コロナ禍、令和2年豪雨等からの創造的復興に向け、「地域商社事業×観光地域づくり」で熊本の地域活性化を目指す。</p> <p><b>実施体制図</b></p>

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

(株)KASSE JAPANは、将来的に熊本県全域を対象としたDMO/地域商社化を目指す、ファーストステップとして、既に地域商流基盤の整備を進めている「くまもと県南地域」と連携し、基本スキームを構築。

くまもと県南地域は、食関連産業の集積等による地域活性化を目指し、熊本県が策定した「くまもと県南フードバレー構想」の推進を目的として、平成 25 年 7 月 30 日に「くまもと県南フードバレー推進協議会」を設立しており、県、管内 15 市町村はもとより、農林水産業者や商工業者を始め、関係団体や試験・研究機関など、様々な業種・分野の事業者等約 800 者が会員として入会している。

当協議会は、会員同士の連携・交流を深めることで、新たなビジネスの創出につなげることを目的としており、「くまもと県南フードバレー構想」推進に向けた総合窓口として、「食」に関連したネットワークの形成やフードバレーを支える人材の育成に向けた取組みなどを実施している。

また、「くまもと県南地域」は、食の流通促進、観光資源の掘り起し等、既に地域主体となって地域商社的機能の整備に向けた取組みを進めており、(株)KASSE JAPANが目指すべき方向性(地域サプライチェーンの構築)と共通する点が多い為、県内においては当該地域を区域設定とした。

「くまもと県南地域」の特性を最大限に活かしながら、くまもと県南フードバレー構想と同じ方向性で商品開発や流通基盤の整備に取組み、一体となった展開を図っていく。

なお、基本スキームの構築が完了した後は、その活動範囲を、熊本県全域に拡大していくことを目指す。

一方で九州産交グループの九州産交ツーリズム(株)地方創生事業部では路線バスを使った日帰りバス旅「ロバの旅」の企画造成、県内外、海外への販売を通じ、熊本の地域の観光まちづくり支援に繋がる事業を行っている。また、SAKURA MACHI Kumamoto でのくまモンビレッジ、上天草市のミオ・カミーノ天草、そして阿蘇山上ターミナルの運営を行っている。八代地域での収穫体験事業、芦北・水俣での観光事業を(株)KASSE JAPANと連携し実施してきた。

これまで観光の側面から地域活性化に取り組んできた九州産交ツーリズム(株)の地方創生事業を令和3年7月に(株)KASSE JAPANへ譲渡、(株)KASSE JAPANは「物産」に限らず、直接観光分野での地域活性化へも取り組み、観光事業の拡大と地域商社としての県内外への地域製品の拡販を一体的に運用、さらに九州産交グループの経営資源と地域とのマッチングによる新たな地域活性化に取り組むことで、「観光×物産」の連動モデルを創っていく。

#### ●県南地域

県南地域では、「くまもと県南フードバレー構想」に基づき、食産業の集積を進めており、県内最大の生産者・加工業者の地域ネットワークが構築されつつある。この地域は優良な農林水産物の生産地で、「くまもと県産い草」、「くまもと県産い草畳表」、「田浦銀太刀」、「八代特産晚白柚」、「八代生姜」がGI登録されており、地域特産品のブランド化推進の取組みが行われている。また、この地域は、うたせ船(芦北)や舟出浮き(八代)、不知火海の牡蠣、観光農園である福田農場(水俣)等、農林水産業に関連した観光資源が多く存在している。継続的な誘客を図るため、トップシーズンである夏季だけではなく、冬季を中心に収穫される農林水産物を活用した加工商品の開発を進め、熊本観光の冬場のオフ期対策として、地位の確立を目指す。また、生産者の理解と協力をいただきながら、県南地域を「観光農園」に見立て、年間を通して収穫体験できる体制整備(くまもと県南観光農園[仮])に努める。中でも、水産物収穫体験の好例である「うたせ船」については、団体から個人へと移行が進む旅行者のスタイル変化や担い手の減少等を踏まえ、新たな海上交通手段としての活用を含め、より一層旅行者のニーズに対応できる体制作り、関連従事者の誇りや働きがいを念頭に商品づくりや関心喚起を図る。さらに、リアス式海岸に広がる柑橘畑に、紺碧の海に映える「うたせ船」の白いマストは、地中海に例えられる風景としてよく知られている。この風景は、自然と人の営み・生業が作り上げた日本の原風景の一つでもある。自然と人の営みにより形成された絶景を、「くまもと観動プロジェクト 100」と連動しながら発掘・ブランド化を進めていく。

#### ●人吉球磨地域

令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた地域では、2年以上の営業休止を余儀なくされる施設もある。新型コロナウイルス感染症の影響も続く中、実効性の高いプロモーションや旅行者の受入環境整備等きめ細かな支援を展開し、地域に賑わいを取り戻すべく、3つの方向性を念頭に観光地としての創造的復興を目指す。1つ目は、「豊かな資源を活かした球磨川ゆかりの新たなツーリズムの創造」。集客の目玉となる球磨川や森林を活用したアクティビティ開発、サイクルツーリズム、温泉や食資源等の健康志向のプログラムを組み合わせたウェルネスツーリズム、球磨焼酎を活かした蔵ツーリズム等、球磨川ゆかりの持続可能な新ツーリズムの確立を図る。2つ目は、「まち並みや地域の資源を活かした宿泊を促す観光コンテンツの充実」。古き良きまち並みや賑わいある飲食店街、日本遺産にも登録された寺社や相良三十三観音、球磨焼酎をはじめとする特産品等、これまで地域を支えてきた観光資源について、切り口を変えたコンテンツ化やプロモーションの工夫によって新たな付加価値を生み出し、宿泊客数増加や観光消費拡大への足掛かりとする。3つ目は、「伝統や文化とIoTを融合したスマート観光の推進」。デジタルやオンライン技術基盤を活用して、時代に対応した新たな観光スタイルを導入し、観光地としての進化を図る。歴史や文化が育んだ観光資源をIoTにより、そのポテンシャルを最大化しながら、スマート観光の実現を図り、旅行者の利便性と満足度を向上させる。

#### 【観光客の実態等】

国内旅行者(九州内)中心の来訪者が多数を占める。通過型観光も多く、滞在時間の延長、目的地としての磨き上げなどが課題(コロナ禍の中でも傾向は変わらず)。コロナ以前は、SL人吉、田園シンフォニー、肥薩オレンジ鉄道などの観光列車運行や、八代港への大型クルーズ客船の寄港による県南エリアへの関心の高まりがあり、受け皿を作り上げていくことが必要であったが、現在では観光客の動きの低迷により低調。令和2年豪雨による被害を受けた事業者も多く、復興に向けての取り組みが必要。

#### 【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

地域色豊かな食や文化等、観光(地域)資源が多彩にあり、四季を通じて楽しめる。

観光施設、商業施設、自然、文化等：

立神峡（氷川町）、五家荘 縦木の吊橋（八代市）、三ツ島（八代市）、立神峡（氷川町）、湯の児フェリーロード（水俣市）、うたせ船（芦北町）、野外彫刻「風ん子」（津奈木町）、肥薩おれんじ鉄道、くま川下り（人吉・球磨地域、くま川鉄道「田園シンフォニー」、川辺川（相良村等、松谷棚田（球磨村）、あさぎりウインターライト（あさぎり町）、青井阿蘇神社（人吉市）、鶴ヶ浜海水浴場（芦北町）、永国寺の睡蓮（人吉市）、新宮寺の紅葉（錦町）、市房ダム湖と桜（水上村）

スポーツ、イベント等：

やつしろ全国花火競技大会（八代市）、八代妙見祭（八代市）、みなまたローズマラソン（水俣市）、葦北鉄砲隊（芦北町）、芦北伽哩街道（水俣・芦北地域）、つなぎブロンズマラソン（津奈木町）

食：

晚白柚（八代地域）、トマト・ミニトマト（八代地域）、芦北マガキ（水俣・芦北地域）、サラダ玉ねぎ（水俣・芦北地域、梨（八代地域、人吉・球磨地域）、栗（人吉・球磨地域、球磨焼酎（人吉・球磨地域）

#### 【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

##### ○域内交通

・公共交通機関は路線バスが主な手段であり、観光客はレンタカー利用者が多い。

##### ○宿泊施設

・温泉旅館、シティーホテル、民宿など様々な形態の宿泊施設があるが、単独でのキャパシティは小・中規模施設が中心。近郊マーケットを対象とした地域体験メニューなどと一体化した誘致戦略が有効と自己分析

#### 【利便性：区域までの交通、域内交通】

公共交通機関は生活者が対象の路線バスが主な手段であり、地域内は自家用車やレンタカー利用者が多い。

#### 【外国人観光客への対応】

八代港は岸壁機能を強化し、現在最大水深 14 メートル 16 万トン級以上の船が入港可能となった。よって、コロナ前には世界最大級のクルーズ船「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」をはじめ、大型クルーズ線を積極的に誘致していたが現在はストップ。今後は新たなクルーズ船の寄港岸壁のあり方等を含め、国や地元等と連携しクルーズ振興について検討が必要。

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	観光関連では熊本県公式予約サイト「くまもっと旅行社。」地域商社関連では熊本県南地域産品購入サイト「くまもと県南ふうど市場」を活用して実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	モニターツアー等でのアンケート調査を自主事業として実施。
産直市場等での販売データ	地域・季節・販売先毎の属性別売れ筋データを収集し、よりの確な	POS システムを活用し、商品別売上げデータを収集



	販売開拓、売上施策を構築する。	
リピーター率	顧客属性別売れ筋データを収集し、よりの確な商品開発に繋げる。また、顧客データを集約し、独自販路形成に繋げる。	「くまもつと旅行社。」くまもと県南ふうーど市場」での予約・購入履歴より分析を実施。

## 4. 戦略

### (1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

(県南地域の社会的状況)

- 県南地域の人口 昭和 30 年をピークに平成 22 年までに 30%以上減少
- 高齢化 高齢化率は全国や県全体より高く 30.3%
- 市町村民所得 減少傾向にあり、県平均より約 33 万円低い
- 雇用状況 平成 22 年以降回復傾向にあるが、依然 0.55 倍と厳しい

県南地域の産業等の現状

(1) 産業構造

・ 地域の総生産額や産業別就業人口割合に占める第 1 次産業の割合が高く、地域の産業において農林水産業が大きなウェイトを占める。

(2) 農林水産業

- ・ 八代は野菜、水俣・芦北は果樹、人吉・球磨は米・野菜・工芸農作物が産出額に占める割合が高く、各地域の特長を活かした多彩な農業が営まれている。
- ・ 1 経営体あたりの生産農業所得は全国、県全体より高く、特に八代地域は大きく上回っている。

(3) 製造業

- ・ 食品関連製造業が製造品出荷額の約 21%を占め、比較的食品関連の製造が盛んな地域。
- ・ 1 事業所あたりの製造品出荷額は、食料品・飲料等とともに全国の半分程度であり、小規模な事業者が多い。
- ・ 食品関連の付加価値額の割合は、全国と比較して 10%ほど低い。

(4) 八代港

- ・ 八代港は県内最大の物流拠点港であり、平成 24 年度末を目標に -14.0m 岸壁を整備中。
- ・ 韓国・釜山との間に国際コンテナ定期航路が週 2 便就航。貨物取扱量においては、輸入が輸出を大きく上回っている。

### (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> ○ 話題性の高い観光列車 (おれんじ食堂、田園シンフォニー、SL 人吉など) の運行 ○ 物流拠点としての八代港 ○ 生産量 N01 のトマトやい草、晩白柚 ○ 1 経営体あたりの生産農業所得 が 全国より約 40 万円 高い	<b>弱み (Weaknesses)</b> ○ 観光に対する市民 (事業者) 意識不足 ○ 2 次交通の脆弱さ ○ 人口減少、地域の高齢化 ○ 商材の多くが少量・多品種

外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> ○八代港へのクルーズ寄港 ※くまもんポートの利活用 ○地方創生を活用したチャレンジ機運 ○熊本地震からの創造的復興も目指す機運の高まり	<b>脅威 (Threat)</b> ○人口減少、地域の高齢化 ○熊本地震・令和2年豪雨によるサプライチェーンの寸断と風評被害
------	---	---

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

### (3) ターゲット

○第1ターゲット層 定期的にご利用が可能な近郊中規模（リピーターマーケット）
○選定の理由 平成25年3月に熊本県が策定した「くまもと県南フードバレー構想」は、熊本県・県南地域（八代地域、水俣・芦北地域、人吉・球磨地域）の豊富な農林水産物を活かし、食関連の研究開発機能や企業を集積させる「フードバレー」を形成することにより県南地域の活性化を目指している。グローバル化による市場規模の拡大、観光などの領域での「食」の活用等、新たな成長産業としての期待が高まっている。「くまもと県南フードバレー構想」策定のための調査分析において、近隣他地域と比較して、少量・多品種のものが多く、物流コストや納入ロットを考慮した結果、近郊エリアの物産館等と連携し、近郊中規模マーケットを取り込む地産地消の取り組みが有効と判断。また、観光素材においても、周辺に熊本城や阿蘇などの有名観光地があるため、これら観光地との連動を図った、九州域内在住者を対象とした感動体験コンテンツの構築を目指す。加えて、ITを活用し、顧客管理システムの構築や顧客へのポイントサービスの仕組み構築を実現し、リピーター客確保（ヘビーユーザー化）を目指す。
○ターゲット層 B to B による中規模市場
○選定の理由、○取組方針 近隣他地域と比較して、少量・多品種のものが多く、物流コストや納入ロットを考慮した結果、全国展開でなく、地域の良さ、品質を適度に理解でき、流通ルートが安定している近隣の中規模市場を狙っていく。B to C 及び B to B を両輪で取り組み、リスクの分散・様々な販売データを蓄積し、将来的な外的変化にも対応が可能な基盤を構築する。観光素材においても、食をフィーチャーした体験商品を二次交通と組み合わせた「ロバの旅」の大手旅行代理店商品やOTAへの組み込みを促し、販売チャネルを拡大していく。

### (4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	熊本地震・コロナ禍、令和2年豪雨等からの創造的復興に向け、地域商社事業 × 観光地域づくり で熊本の地域活性化を目指す。
--------	--

②コンセプトの考え方	<p>熊本は文化・歴史・自然・食など多彩な魅力があり、これまでも様々な商品化、プロモーションを戦略的に実施してきた。しかしながら、ビジネスとしての流通及び持続が地域共通の課題となっている。</p> <p>また、今回の熊本地震では、施設等の直接的な被害の他、販売先の被災や流通経路の分断等により、販路を失ってしまうといった経済的被害が多く見受けられた模様。こういった場合において、個々の事業者だけよりも一定以上の規模を持つ地域商社があれば、より迅速・的確な対応が可能であり、(株)KASSE JAPANは熊本地震からの復興に向けたリーディング的な取り組みとなる。</p> <p>そこで、地域に根ざし共存する企業として地元企業の九州産交グループが他企業との連携によりノウハウを蓄積し、地域創生に向けた課題解決として各地域の取り組みを補完できるDMC/地域商社構想を打ち出しており、実現に向けて官民一体となった取り組みを実施する。「くまもと県南地域」と連携し、事業基盤の確立を目指す。九州産交グループの経営資源と地域とのマッチングによる新たな地域活性化に取り組むことで、「観光×物産」の連動モデルを創り、将来的にはDMC/地域商社の対象エリアを熊本県全県に拡大していく。</p>
------------	--

## 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<p>協議会による研究会、ワーキンググループ等にて 戦略の共有を図ると共に、各関係事業者等の相談窓口としてDMO/地域商社が機能。地域商社に蓄積されるノウハウや専門家を活用し、地域事業者に対するコンサルティング活動等も実施する。</p> <p>観光戦略部観光振興課との月1回を基本とした報告会にて「くまもと旅行社。」の販売状況の共有し、行政と両輪となる業務の遂行を行う。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>地域のしがらみ（横並び意識・世代間のずれ）からの脱却や、市場性を考慮した商品開発等を展開するため、地域商品のマーケティングや商流の確保を事業者にとって行う事業者（DMO/地域商社）運営を目指す。</p> <p>また、マーケティング・分析結果を、協議会を通じて関係者にフィードバックし、継続的にブラッシュアップを実施する。</p> <p>○取扱い商品情報のデータベース化 ○顧客のデータベース化</p>
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<p>事業者の情報及び販売者（バイヤー）の情報を、双方向から地域商社がデータベースとして一元化。商流の確保や双方向のマッチングを図ると共に、EC サイトを活用した BtoC 施策も実施。</p> <p>○ワンストップ組織の構築（地域商社） ○SNS 等を活用したプロモーション</p>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

**6. K P I (実績・目標)**

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

**(1) 必須K P I**

指標項目		2020 (R 2) 年度	2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	290 ( )	300 ( )	310 ( )	350 ( )	( )	( )
	実績	177 (5)	191 (-)	( )			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	( )	( )	( )	8,000 ( )	( )	( )
	実績	4,591 (140)	4,737 (35.9)	( )			
●来訪者満足度 (%)	目標	82.0 ( )	84.0 ( )	85.0 ( )	86.0 ( )	( )	( )
	実績	( )	( )	( )			
●リピーター率 (%)	目標	65.0 ( )	65.0 ( )	66.0 ( )	66.0 ( )	( )	( )
	実績	( )	( )	( )			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

**目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方**

**【検討の経緯】**

※K P Iとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。

**【設定にあたっての考え方】**

- 旅行消費額  
熊本県が発表した熊本県観光統計表による
- 延べ宿泊者数  
熊本県が発表した熊本県観光統計表による
- 来訪者満足度  
熊本市が発表した観光客動向及び満足度調査による
- リピーター率  
熊本市が発表した観光客動向及び満足度調査による

--

**(2) その他の目標**

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●くまもっと旅行社。販売件数 (千円)	目標				13,000		
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
●くまもと県南ふうど市場売上高 (千円)	実績	13,624	33,496	11,197	/	/	/
		( )	( )	( )			
●くまもと県南ふうど市場売上高 (千円)	目標	10,580	25,625	11,300	4,200		
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
●くまもと県南ふうど市場売上高 (千円)	実績	14,835	15,899	22,326	/	/	/
		( )	( )	( )			
●八代港 クルーズ船寄港数 (件)	目標	-	-	-			
		( )	( )	( )	( )	( )	( )
●八代港 クルーズ船寄港数 (件)	実績	0	0	0	/	/	/
		( )	( )	( )			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値  
 ※各指標項目の単位を記入すること。

**指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方**

<p><b>【検討の経緯】</b></p> <p>※KPIとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。</p> <p>.....</p> <p><b>【設定にあたっての考え方】</b></p> <p>●くまもっと旅行社。売上高                  熊本県観光振興課との打合せに依る。対前年との伸び率、復興に係るトピックスやイベントを加味し、目標数値を設定する。定期的な数字報告により変更の必要性があれば協議、変更する。</p> <p>●くまもと県南ふうど市場売上高                  くまもと県南フードバレー推進協議会との打合せに依る。対前年との伸び率、復興に係るトピックスやイベントを加味し、目標数値を設定する。定期的な数字報告により変更の必要性があれば協議、変更する。</p> <p>●八代港 クルーズ船寄港数                  熊本県が発表した八代港のクルーズ拠点形成計画による。</p>	
--	--

**7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し**

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。  
 ※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

**(1) 収入**

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2020（R2） 年度	70,323,000（円）	【受託事業】 57,567,522（円） 【収益事業】 12,755,478（円）
2021（R3） 年度	130,756,000（円）	【受託事業】 56,099,800（円） 【収益事業】 59,110,200（円） ※九州産交ツーリズム㈱からの事業譲渡により 旅行事業・観光施設運営事業分が増額（以降同様）
2022（R4） 年度	278,200,000（円）	【受託事業】 43,717,000（円） 【収益事業】 234,483,000（円）
2023（R5） 年度	301,337,000（円）	【受託事業】 46,350,000（円） 【収益事業】 254,987,000（円）
2024（R6） 年度（計画）	365,300,000（円）	【受託事業】 50,000,000（円） 【収益事業】 315,300,000（円）
2025（R7） 年度（計画）	438,500,000（円）	【受託事業】 50,000,000（円） 【収益事業】 388,500,000（円）

## （2）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2020（R2） 年度	48,775,000（円）	【一般管理費】 19,001,000（円） 【収益事業支出】 29,774,000（円）
2021（R3） 年度	173,254,000（円）	【一般管理費】 82,315,000（円） 【収益事業支出】 90,939,000（円） ※事業譲渡により観光事業分が増額（以降同様）
2022（R4） 年度	375,328,000（円）	【一般管理費】 94,190,000（円） 【収益事業支出】 281,148,000（円）
2023（R5） 年度	353,124,000（円）	【一般管理費】 104,832,000（円） 【収益事業支出】 248,292,000（円）
2024（R6） 年度	396,900,000（円）	【一般管理費】 105,880,000（円） 【収益事業支出】 386,320,000（円）
2025（R7） 年度	433,870,000（円）	【一般管理費】 106,939,000（円） 【収益事業支出】 326,931,000（円）

## （3）自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・「くまもつと旅行社。」での着地型旅行商品の販売による収入
  - ・県外企業への B to B マッチング営業活動による県南産品の販売による収入
  - ・「くまもと県南ふうど市場」での B to C 物産品販売による収入
  - ・地方公共団体からの委託事業の受託収入
- 以上による計上利益計画は、  
地方創生課（DMO 担当部門）  
R5 年度 売上 197,281 千円/経常利益▲29,973 千円  
阿蘇山上ターミナル

R5 年度 売上 47,491 千円/経常利益▲1,767 千円

・上天草市からの複合観光施設「ミオ・カミーノ天草」指定管理による販売収入

R5 年度 売上 56,745 千円/経常利益▲10,583 千円

・R6 年までマイナス予算計画。ミオ・カミーノ天草、阿蘇山上ターミナル等の自主事業を R7 年度以降の黒字化を目標に、脱コロナ、インバウンドの取り込みで利益確保していく。産交グループの経営資源を活用した委託事業の受託も強化し、グループ全体での収支をモニタリングする。

## 8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

熊本県、八代市、水俣市、人吉市、氷川町、芦北町、津奈木町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上町、相良村、五木村、山江村、球磨村は、株式会社 KASSE JAPAN を当該地域における地域連携 DMO として登録したいので当該法人とともに申請します。

## 9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携 DMO（県単位以外）や地域 DMO と重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

**【他の地域連携 DMO や地域 DMO との間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】**

重複する DMO として(株)くまもと DMC（地域連携 DMO）、(一社) DMO やつしろ、(一社)人吉球磨観光地域づくり協議会（地域連携/候補）がある。

(株)くまもと DMC とは月 1 回情報交換会を行い、取り組み状況についての意見交換を行っている。(一社) DMO やつしろとは月 1 回の情報交換を行うとともに、八代市役所の農業体験磨き上げ事業にて業務の委託先として連携を行っている。(一社)人吉球磨観光地域づくり協議会とは月 1 回情報交換会を行い、取り組み状況についての意見交換を行っている。

### **【区域が重複する背景】**

(株)くまもと DMC は熊本県全域を対象エリアとする地域連携 DMO であり、マーケティング力による戦略立案、ブランディングで観光地づくりを行っている。全県レベルでの熊本の観光振興、地域づくりを担う(株)くまもと DMC に対し、(株)KASSE JAPAN は熊本県南地域（八代、水俣・芦北、人吉・球磨）を対象地域として地域商社としての地域製品の販促と、地域観光素材の磨き上げ、旅行商品化、販促を行う地域連携 DMO である。(一社) DMO やつしろは八代市を対象エリアとする地域 DMO であり、より地域に密着した観光地づくりを担う存在である。対象エリアと関わるレベルの違いが、区域が重複しつつも棲み分ける違いにつながっている。(一社)人吉球磨観光地域づくり協議会は、2015 年から 10 市町村で定住自立圏形成協定を締結し、観光をはじめ様々な分野での協力体制を構築してきた経緯等を踏まえ、2018 年 3 月に行政、観光事業者、交通事業者、商工関係者、農林漁業者等とも連携した組織「人吉球磨観光地域づくり協議会」を設立、着地型商品開発等を行うなど地域産業全体

の振興を視野に入れた観光地域づくりに地域一体となって取り組んでいる。こちらも対象エリアと関わるレベルの違いが、区域が重複しつつも棲み分ける違いにつながっている。

#### 【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

(株)くまもとDMCは母体である肥後銀行、熊本県とのネットワークからより熊本県の観光振興を大所からみた大きな取り組みとしての事業展開を行っている。(株)KASSE JAPAN は地元の交通事業者をオリジンとする地域商社+DMCとして、県外へ県南15市町村を中心とした地域観光商品の県外大手旅行代理店への商品販売、地域での観光地づくり、地域製品の企画開発、販売を行っている。(一社)DMOやつしろは地域DMOとしてより地域に密着した観光商品開発や地域事業者との合意形成、また新規の事業者の掘り起こしや予約管理などを行っている。(一社)人吉球磨観光地域づくり協議会は人吉球磨地域の10市町村における観光消費額やリピーター率の向上による地域経済の活性化を図るため、同地域における着地型観光事業を展開している。(株)KASSE JAPAN は同エリアにおける「くまもと県南フードバレー構想」推進を目的に(一社)人吉球磨観光地域づくり協議会とは主に地域商社の立場での連携、また地域の観光素材と高速バス等と組み合わせた旅の企画造成や大手旅行代理店への旅行商品の卸販売や販促活動を行う。

#### 【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

4者の関わりとしては(一社)DMOやつしろ、(一社)人吉球磨観光地域づくり協議会が地域事業者のまとめあげや予約管理、商品の持続性をもたせるための維持管理を主体に、(株)KASSE JAPAN は磨き上げられた観光素材を地域の二次交通、特に自社グループの路線バスと組み合わせた路線バスの旅「ロバの旅」を企画造成、Web予約サイト「くまもつと旅行社。」や大手旅行代理店への旅行商品の卸販売と販促活動を得意としている。(株)くまもとDMCは熊本県、肥後銀行との連携の中で、大きな戦略立案やブランディングを行い、県を通じた委託事業での連携で地域とのつながりをネットワーク化している。立ち位置の違いによる役割分担を意識した事業運営を各DMOが行うことにより、効果的な活動が可能となっている。

※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

## 10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	有元 隆
担当部署名(役職)	代表取締役社長
郵便番号	860-0806
所在地	熊本県熊本市中央区花畑町4番3号 太陽生命熊本ビル9階
電話番号(直通)	096-325-8331



F A X 番号	096-355-1296
E - m a i l	arimoto-takashi@kyusanko.co.jp

### 1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	熊本県
担当者氏名	木村 壮
担当部署名（役職）	観光戦略部観光企画課（主任主事）
郵便番号	862-8570
所在地	熊本県熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号
電話番号（直通）	096-333-2332
F A X 番号	096-385-7077
E - m a i l	kimura-t@pref.kumamoto.lg.jp

都道府県・市町村名	八代市
担当者氏名	五反 拓野
担当部署名（役職）	観光・クルーズ振興課
郵便番号	866-0844
所在地	熊本県八代市旭中央通 3-11TS ビル 3F
電話番号（直通）	0965-33-4115
F A X 番号	0965-33-4516
E - m a i l	taku-gyd@city.yatsushiro.lg.jp

都道府県・市町村名	水俣市
担当者氏名	山内 達太郎
担当部署名（役職）	経済観光課
郵便番号	867-8555
所在地	熊本県水俣市陳内 1-1-53
電話番号（直通）	0966-61-1629
F A X 番号	0966-63-5547
E - m a i l	yamauti-ta@city.yatsushiro.lg.jp

都道府県・市町村名	人吉市
担当者氏名	福田 奈々美
担当部署名（役職）	観光振興課
郵便番号	868-8601
所在地	熊本県人吉市下城本町 1578-1

電話番号（直通）	0966-22-2111
F A X 番号	0966-22-7047
E - m a i l	hs956@city.hitoyoshi.lg.jp

都道府県・市町村名	氷川町
担当者氏名	三枝 知史
担当部署名（役職）	地域振興課
郵便番号	869-4814
所在地	熊本県八代郡氷川町島地 642
電話番号（直通）	0965-52-5850
F A X 番号	0965-52-3939
E - m a i l	tmfm-158@town.kumamoto-hikawa.lg.jp

都道府県・市町村名	芦北町
担当者氏名	田畑 直香
担当部署名（役職）	商工観光課
郵便番号	869-4814
所在地	熊本県芦北郡芦北町芦北 2015
電話番号（直通）	0966-82-2511
F A X 番号	0966-82-2893
E - m a i l	tabata-n@town.ashikita.lg.jp

都道府県・市町村名	津奈木町
担当者氏名	濱田 真大
担当部署名（役職）	政策企画課
郵便番号	869-5692
所在地	熊本県芦北郡津奈木町小津奈木 2123
電話番号（直通）	0966-78-3112
F A X 番号	0966-78-3116
E - m a i l	hamadam@town.tsunagi.lg.jp

都道府県・市町村名	錦町
担当者氏名	清田 咲希
担当部署名（役職）	企画観光課
郵便番号	868-0392
所在地	熊本県球磨郡錦町一武 1587
電話番号（直通）	0966-38-4419
F A X 番号	0966-38-1575

E-mail	s-kiyota@town.kumamoto-nishiki.lg.jp
--------	--------------------------------------

都道府県・市町村名	あさぎり町
担当者氏名	東 美里
担当部署名（役職）	商工観光課
郵便番号	868-0408
所在地	熊本県球磨郡あさぎり町免田東 1199
電話番号（直通）	0966-45-7220
FAX番号	0966-45-7230
E-mail	mi-higashi@town.asagiri.lg.jp

都道府県・市町村名	多良木町
担当者氏名	宗像 星磨
担当部署名（役職）	企画観光課
郵便番号	868-0595
所在地	熊本県球磨郡多良木町多良木 1648
電話番号（直通）	0966-42-1257
FAX番号	0966-42-2293
E-mail	s_munakata@town.taragi.lg.jp

都道府県・市町村名	湯前町
担当者氏名	兼田 奈緒美
担当部署名（役職）	企画観光課
郵便番号	868-0621
所在地	熊本県球磨郡湯前町 1989 - 1
電話番号（直通）	0966-43-4111
FAX番号	0966-43-3013
E-mail	kaneda@town.yunomae.lg.jp

都道府県・市町村名	水上村
担当者氏名	福山 将平
担当部署名（役職）	産業振興課
郵便番号	868-0795
所在地	熊本県球磨郡岩野 90
電話番号（直通）	0966-44-0314
FAX番号	0966-44-0662
E-mail	fukuyama@vill.mizukami.lg.jp

都道府県・市町村名	相良村
担当者氏名	山下 由華
担当部署名（役職）	産業振興課
郵便番号	868-8501
所在地	熊本県球磨郡深水 2500 - 1
電話番号（直通）	0966-35-0211
F A X 番号	0966-35-0011
E - m a i l	yamashita-y@vill.sagara.lg.jp

都道府県・市町村名	五木村
担当者氏名	山本 巧
担当部署名（役職）	ふるさと振興課
郵便番号	868-0201
所在地	熊本県球磨郡五木村甲 2672 - 1
電話番号（直通）	0966-37-2212
F A X 番号	0966-37-2215
E - m a i l	t-yamamoto@vill.itsuki.lg.jp

都道府県・市町村名	山江村
担当者氏名	尾方 えりか
担当部署名（役職）	企画調整課
郵便番号	868-0092
所在地	熊本県球磨郡山江村山田甲 1356 - 1
電話番号（直通）	0966-23-3112
F A X 番号	0966-24-5709
E - m a i l	ogata-e@vill.yamae.lg.jp

都道府県・市町村名	球磨村
担当者氏名	赤池 尚美
担当部署名（役職）	産業振興課
郵便番号	869-6401
所在地	熊本県球磨郡球磨村渡丙 1730
電話番号（直通）	0966-32-1115
F A X 番号	0966-32-1110
E - m a i l	n-akaikei@vill.kuma.lg.jp

記入日: 令和6年 1月 31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

熊本県、八代市、人吉市、水俣市、氷川町、芦北町、津奈木町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村

【設立時期】 平成29年4月27日

【設立経緯】

①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】 代表取締役社長 有元 隆

【マーケティング責任者(CMO)】 取締役 森崎 正之

【財務責任者(CFO)】 取締役 古閑 勝広

【職員数】 46人(常勤33人(正職員33人・出向等0人)、非常勤13人)

【主な収入】

(例)収益事業 174百万円、委託事業 127百万円(2023年度決算)

【総支出】

(例)事業費 130百万円、一般管理費 224百万円(2023年度決算)

【連携する主な事業者】

各地域観光協会、商工会議所、商工会、熊本県観光連盟、九州産交バス、九州産交リテール、その他関係事業者

KPI(実績・目標)

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (百万円)	目標	290 ( )	300 ( )	310 ( )	350 ( )	( )	( )
	実績	177 (5)	191 (-)	( )	—	—	—
延べ宿泊者数 (千人)	目標	( )	( )	( )	8,000 ( )	( )	( )
	実績	4591 (140)	4,737 (35.9)	( )	—	—	—
来訪者満足度 (%)	目標	82.0 ( )	84.0 ( )	85.0 ( )	86.0 ( )	( )	( )
	実績	( )	( )	( )	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	65.0 ( )	65.0 ( )	66.0 ( )	66.0 ( )	( )	( )
	実績	( )	( )	( )	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

- ①定期的に利用が可能な近郊中規模
- ②B TO B による中規模市場

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ・九州内在住者向け感動体験コンテンツの構築
- ・食をフィーチャーした体験商品＋二次交通商品

【観光地域づくりのコンセプト】

熊本地震・コロナ禍、令和2年豪雨等からの創造的復興に向け、地域商社事業 × 観光地域づくりで熊本の地域活性化を目指す

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・2019～2023 着地型旅行商品開発事業
- ・2018～2023 八代市収穫体験事業

【受入環境整備】

- ・2020・2023 くまもっと地域応援社支援事業 (水俣市)
- ・2019～2023 県南フードバレーネットワーク形成事業

【情報発信・プロモーション】

- ・2019～2023 芦北町復興応援・観光素材プロモーション事業
- ・2017～2023地域商社推進事業

【その他】

- ・台湾人等旅行者向け 滞在型観光コンテンツ造成業務
- ・水俣芦北地域のお土産品 調査提案事業

